

計画の名称	歩き・集えるくらしやすいまちづくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	朝日町												
計画の目標	東海道では、街道の面影を残す歴史的資源が見られ、複数の寺社が点在している。 ただし、5m程度の狭い道路が多く見られ、国道1号へ抜ける交通量が多く、制限速度を超えて走行している車両が多い。 町民アンケート調査においても、車でも、歩行者でも道路が利用しづらいといった回答が多く、車のスピードが抑えられ、安全に歩行できる空間づくりが求められている。 まちなみ整備ワークショップやまちなみ整備協議会においても、新旧の住民や、商工会議所、行政等との多様な連携が求められており、当該事業をまちづくりのきっかけとして、東海道の歴史的風情の活用、朝日町らしさの創出、新旧の住民や来訪者の交流、コミュニティを育むまちづくりや、生活者や歩行者にやさしいまちづくりの推進により『歩き・集えるくらしやすいまちづくり』を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	761	A	761	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	観光ガイドボランティア等が観光客等に解説した年間回数が0人(H28)から400人(H34)に増加 観光ガイドボランティア等が観光客等に解説した年間回数を測定する	0人/年	200人/年	400人/年
2	平日の午前7時から午後7時までの間、東海道(朝日跨線橋から近鉄駅前交差点)を通過した車両数を1338台(H28)から1200台(H34)に減少 平日の午前7時から午後7時までの間、東海道を通過した車両数を測定する	1338台	1270台	1200台
3	朝日町資料館の年間入館者数を343人(H27)から800人(H34)に増加 朝日町資料館の年間入館者数を測定する。	343人/年	570人/年	800人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	朝日町	直接	朝日町	-	-	東海道地区都市再生整備 計画事業	地域生活基盤施設、高質空間 形成施設、既存建造物活用事 業、A=62ha	朝日町						761	-	-	
												小計						761		
											合計						761			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					